ホトルワインの10本に一本以

台成コルクに取って代わられ 当たり2~20%で生産できる

今や世界で売られるフル

-ン栓市場の約20%は、1個

上はノマコルク社製の栓が使

然コルク業界はカンカンだ」 にわたる天然コルクの市場独 ノマコルク社などが数百年 ノマコルク社のマーク・ノ 「我々のせいで天

THE WALL STREET JOURNAL.

は14億個の樹脂製の合成コ 間休みなく動いており、 る何の変哲もない れた小さな町にあ 上場では10台の巨 ナ州の森に囲ま

ウォール・ストリート ・ジャーナル

(本紙提携、5月1日掲載)

## 約

◇ワイン栓市場で、樹 脂製合成コルク栓が、 数百年にわたった天然 コルク業界の独占を打 破した。

◇技術革新によりワイ ンの劣化を防ぐ製品開 発や品質管理でも優位 に。

◇天然コルク業界は、 コルクガシの森林保護 などを訴える宣伝活動 で巻き返しを図る。

## 400年目のコルク革命

地球ー周と3分の1

並べると の長さに

なかった。 を使ったため、抜き差ししに るまでになった。 を置き、年間20億個を生産す うに、98年に合成コルクの生 の叫び声に突き動かされるよ 過去にもあったが、 乗り、今や世界3大陸に工場 買い求め、ビジネスは軌道に させない栓を熱望するワイン 産を開始した。ワインを劣化 醸造業者が列をなして製品を ノエル会長は、小売業者ら 合成コルクを用いる試みは

る天然コルクがほとんどだっ

しかし、この10年で、

コルクガシの樹皮を材料とす

17世紀以来、ワイン栓は、

らをかくと、競争に脅かさ めたが、業界はこれに対応し いる。 うことが明らかになった。小 天然コルクから出る化学物質 その多孔質構造により瓶の口 コルク業界に問題の解決を求 売業者やワイン醸造業者は、 インに混入すると風味を損な のトリクロロアニソールがワ 败」にも役立つためだ。 ワイン栓と見なされてきた。 につめやすく、ワインの しかし、1980年代初め、 究極の

ち早く天然コルクと合成コル 物を売ることだ」と話す たい物ではなく、顧客が望む コルクは現在、売り上げの20 ク両方の販売を始めた。合成 らの圧力に屈せず、世界でい ライ社は97年、同業者たちか -は自分たちが売り 不快な栓

を危機に陥れると警告し始め 州の広大なコルクガシの森林 た。環境団体がこれに乗っか を売り込む宣伝に乗り出し 天然コルク業界は巻き返し 天然コルクの衰退が欧

持つワインのコルク栓業界

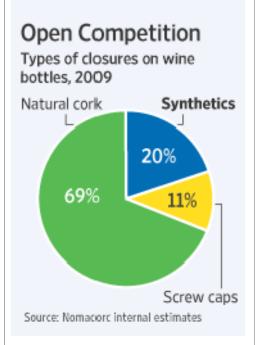
くマコルク社は、合成コルク

同州ゼブロンを拠点とする

に静かな革命を引き起こして

ると述べたことがある。 らつきがない合成コルクで、 の流入を一定に保てない。 ワインの風味を左右する酸素 の多孔質構造は不ぞろいで、 は切り札がある。天然コルク とコルクガシの伐採につなが 呼び、天然コルクがなくなる 合成コルクを「不快な栓」と 持するチャールズ英皇太子は た。そうした団体の一つを支 だが、合成コルク生産者に ©2010 Dow Jones & Company, Inc. All Rights Reserved. Reprinted by Permission 製造・販売するコルク・サプ 開けられるのが特徴だ。 触だが、栓抜きでより簡単にした。天然コルクのような感 たりはまるようスポンジ状に 核を入れ、外側はビンにぴっ 2種類の合成樹脂を用い、 ため新たな技術を開発 ポルトガルで天然コルクを エル会長らは問題解決の





picture and graph from the Wall Street Journal